

ホーローのパイオニアとして、タカラストانダードが事業をスタートしたのは1912年のこと。創業以来、ホーローにこだわり、1962年には世界初となるホーローキッチンの開発に成功しました。これまでホーローの技術を磨き続け、快適な水まわりを提案する住宅設備機器総合メーカーとして業界をリードするまでに成長を遂げることができたのも、皆さまの心地よい暮らしを実現したいという想いがあったからです。

昨今の当社を取り巻く状況は、アフターコロナによる生活習慣の変化や、地政学リスクの波及による市場の変化、脱炭素化やデジタル分野における技術開発の加速などと多方面にわたります。このような複雑な時代に向き合い、私たちが進む方向をステークホルダーの皆さまに指し示すための新たな一歩として、本年度より統合報告書を発行することとしました。

本冊子をきっかけに当社への理解を深めていただけてだけでなく、ステークホルダーの皆さまとより深く対話ができる場とすることも大きな目標の一つ。そして、それが持続可能な社会と新たな価値創造につながると考えています。今回、スタート地点に立った私たちの取り組みはまだ道半ばではありますが、企業としての成長と持続可能な社会の実現を目指し、歩みを進めてまいります。「より快適できれいな暮らしに貢献する」という創業者の想いを受け継いだ、私たちの挑戦はこの先も続きます。

当社の原点

より快適できれいな暮らしに貢献する

企業理念

タカラストانダードにとって大切な3つの“Standard”

Living Standard（住生活水準）

タカラストانダードは、「水まわり設備機器」と「ホーロー技術」の進化を通じて、より多くの人がより心地良い暮らしを楽しめるようにお手伝いします。

Ethical Standard（倫理規範）

タカラストانダードは、「社会との調和」、「社員の幸せ」、「環境への配慮」を大前提に、持続的な利益成長の実現を目指します。

Quality Standard（品質基準）

タカラストانダードは、お客様の「信頼」が最も重要な会社の資産であると考え、製品・サービスの品質向上をすべてに優先させます。

長期ビジョン

『ホーローと共に、光り輝く魅力ある企業へ』

「独自性」を追求し、特別な価値を提供する企業
「新たな事業領域」に挑戦し、顧客を創造する企業
「働きがい」「生きがい」のある企業
社会から「信頼・尊敬」される企業

1

目次・理念体系

3

事業概要

5

主要国内市場について

7

沿革

9

水まわりに最適な素材「高品位ホーロー」

11

トップメッセージ

15

価値創造プロセス・ビジネスモデル

17

リスク・機会分析

19

中期経営計画

事業ハイライト

21

既存事業の持続的成長

23

DXの取り組み

25

海外事業

26

オープンイノベーション

27

環境問題への取り組み

29

人的資本への投資

33

財務戦略

35

ガバナンス

37

取締役・監査役一覧

39

コミュニティへの貢献

39

SDGs 対応表

40

財務ハイライト（主要指標）

編集方針:

本誌はタカラストانダードの企業活動に関する中で、特に株主・投資家の皆さまにとって重要度が高い情報をまとめ、価値創造のストーリーや未来への展望と併せてお伝えすることを目的としています。

対象範囲:

タカラストانダード株式会社

対象期間:

財務・非財務データの集計期間は特に記載がない限り、2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）です。活動内容については2025年度のものを含む場合があります。

参考にした基準

およびガイドライン:

国際統合報告フレームワーク（IFRS財団）、価値協創ガイダンス2.0（経済産業省）

見通しに

関する注意事項:

「統合報告書2025」の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、将来の記載とは異なる可能性があります。

事業概要

ホーローと共に、皆さまの暮らしを支えています

私たちはこれまで、ホーローを中心とした当社独自の技術で、新しい商品・市場を創り出し、多くの人々のより心地よい暮らしに貢献してきました。

これからもホーローの可能性を追求し、自由な発想とチャレンジ精神をもって「快適な生活、きれいな生活の実現」に貢献します。

会社概要 (2025年3月31日現在)

●社名: タカラスタンダード株式会社 ●本社所在地: 大阪府大阪市城東区鳴野東1-2-1 ●創業: 1912年(明治45年)5月30日
●資本金: 263億56百万円 ●上場証券取引所: 東京証券取引所 プライム市場(証券コード: 7981) ●従業員数(連結): 6,560名

売上高

2,433億円

営業利益

156億円

営業利益率

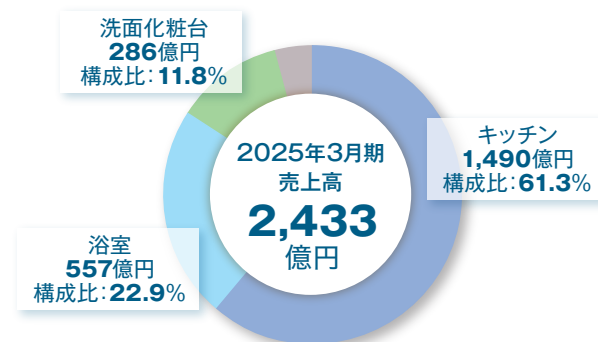
6.4%

ROE

5.8%

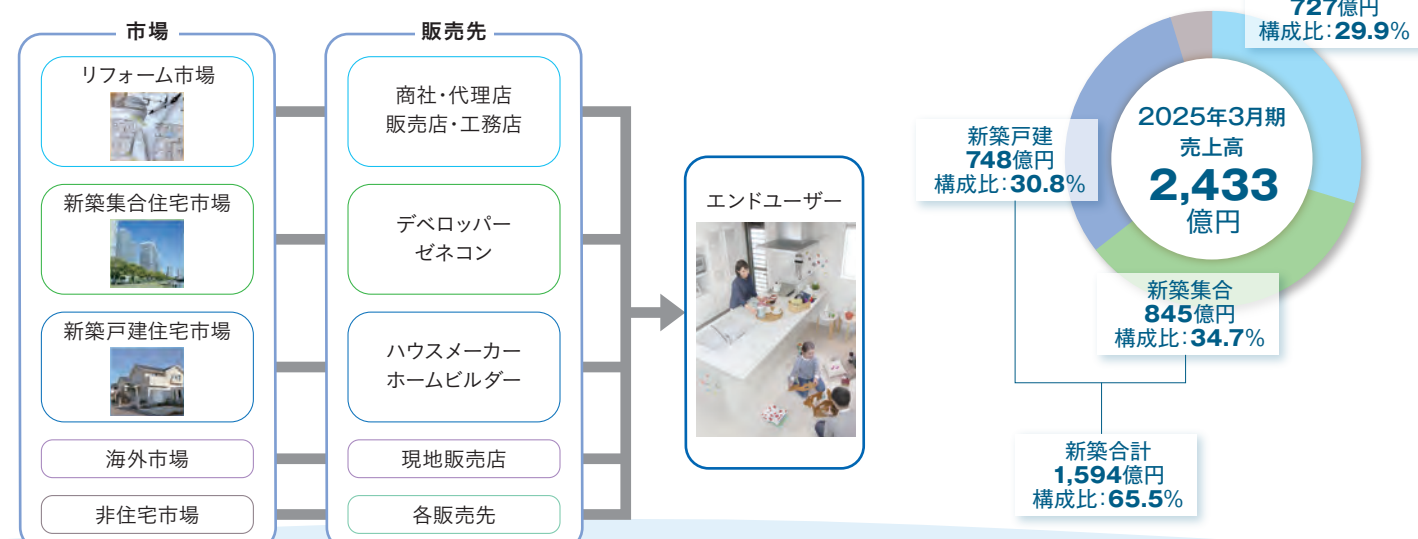
製品展開

幅広いラインナップで快適な暮らしを実現。



市場・販売チャネル

リフォーム市場、新築集合住宅市場、新築戸建市場を中心に事業を展開。
海外での展開や、ホーロー壁装材による非住宅部門にも注力。



創業

113年

1912年5月(明治45年)設立。世界初のホーローキッチンを開発するなど、よりよい暮らしの提供に貢献してきました。

国内ショールーム数

157ヵ所

実際に商品を見て触れて納得してご購入いただくためにショールームをご用意しています。直接お話しできる場を大切にしています。



生産拠点

15ヵ所

●生産拠点
◆物流拠点

物流拠点

10ヵ所



生産拠点15ヵ所、物流拠点10ヵ所を有しており、マンションのように短期間に大量の納品が必要となる大規模物件にも対応できる体制をとっています。拠点を各地に分散することにより、自然災害などのリスク回避も行っています。安定供給が可能な体制が市場で評価され、マンション向けシステムキッチンシェアは80%を誇ります。

新築集合住宅(マンション)キッチンシェア

約80%

従業員数

6,560名



従業員数は6,000名を超え、社員一人ひとりが持ち味を発揮し、一丸となって目標に向かって取り組んでいます。

女性管理職比率

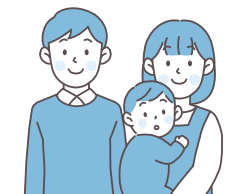
6.3%

女性が活躍できる企業を目指し、積極的な育成と登用を図ります。全ての女性社員が安心して働き続けられる環境整備を目指します。

育児休暇取得率

男性 83.0%
女性 100%

子育てサポート「くるみん」認定企業。男性従業員の育児休業取得率も女性同様に100%を目指して取り組みを進めています。



従業員満足度

75.0%

多様性の確保、人材育成の強化、働きやすい環境づくりに努めています。働きがいを高めることで従業員満足度の向上を目指します。

CO₂排出量削減率

12.5%

持続可能な社会の実現に向け、事業活動における環境負荷低減、環境保全、環境汚染予防に取り組んでいます。

(2025年3月31日現在)

※リフォーム市場、新築集合住宅市場、新築戸建住宅市場の詳細はP5～6をご覧ください。

タカラスタンドは、キッチン・浴室・洗面化粧台などの住宅設備機器を中心に、幅広い市場に製品を供給しています。全国の販売網を活かし、3つの主要市場に合わせた販売体制と提案活動を行い、地域や顧客特性に応じたきめ細かなサービスを提供しています。



ホーローと共に挑戦し続ける、タカラスタANDARD

創業以来、ホーローにこだわり、常に研鑽を続けてきたタカラスタANDARD。他社に追随を許さない、世界でも最高レベルの「高品位ホーロー」を武器に、快適な水まわりをトータルに提案する住宅設備機器総合メーカーへと成長し、業界をリードし続けてきました。その長い道のりにあったのは、経営陣、技術陣、営業陣のたゆまぬ努力と情熱。お客さまの暮らしを見つめ、ホーローと歩んだ110年の軌跡をご紹介します。

1912▶
日本エナメル株式会社を設立。
ホーロー鉄器の製造・販売を開始



1962
世界最初のホーローキッチン
の開発に成功



1970
日本万国博覧会に
タカラグループとして出展



1957▶
日本初のステンレス流し台の
プレス成型に成功。
「タカラ」の商標で製造・販売を開始



1950年代
「ステンレス流し台」の
製造・販売を開始

住宅建設ラッシュなどで受注が増加するも次第に競争が激化。他社が真似できない付加価値のある製品づくりを目指し、長年培ったホーロー技術を生かした流し台の開発を進めました。

1912年～
創業当時の
タカラスタANDARD

前身「日本エナメル」創設者北畠安五郎は留学先のドイツでホーローに出会い、技師を日本に招き、西欧に劣らないホーローの生産に成功。第一次世界大戦により欧州からの販路が途絶え、日本エナメルの独占状態となり会社は成長しました。

1960年代
「ホーローキッチン」誕生

1962年、世界初の「ホーローキッチン」誕生。1967年には本格的ホーローキャビネット流し台「E型シリーズ」発売。斬新なデザインで日本エナメルの独壇場に。耐久性や高級感が人気を集め業界で不動の地位を築きました。

1970年代
消費者の目線を忘れず、
シェア拡大へ

ホーローキッチンのヒット、日本万国博覧会への出展などにより「タカラ」ブランドが浸透。1971年、社名を「タカラスタANDARD株式会社」へ変更。研究体制も強化しホーローキャビネットのカラー化に成功。世界のホーロー学会からも注目を集めました。

1980年代
水まわりにこだわり、ホーローの
プロフェッショナルへ

この頃からホーローにより、水まわり分野で独自の市場を確立。世間ではシステムキッチンが急速に普及。「ホーローシステムキッチンC型」をはじめシリーズ商品を展開。洗面化粧台、システムバスなど製品アイテムを広げていきました。

1990年代
ホーロー技術のさらなる躍進

新開発「窯変ホーロー」の技術を活用し1990年に部材型システムキッチン「レミュー」を発売。工芸品並の美しさを実現しました。また、1992年発売の「ホーローキッチンパネル」は熱に強く、お手入れがしやすいと大好評で、ホーローの可能性を広げた商品に。

2000年代
ホーローへの挑戦は続く

新設住宅着工戸数が減少傾向をたどり、住環境ではデザイン性、機能性、快適さなどの質の高さが求められるようになる中、当社はリフォーム市場に狙いを定め、ホーロー製品をはじめとするさまざまなリフォーム向け製品を投入していきました。

2010年代
次なる100年を目指して

2012年、100年の節目を迎えたタカラスタANDARDはこれからも高品位ホーローという素材を中核として、更なる商品力の強化を図り、豊かな暮らしの創造に努力してまいります。

1982
わが国最初のステンレス一体型
ユニットバスを商品化



1985▶
ホーロー壁装材
「エマウォール」
発売



1985
ホーローシステムキッチン商品化



1992▶
「ホーローキッチンパネル」発売



1999▶
業界初の「びったりサイズ
システムバス」発売



2008
住宅用トイレ
「ティモニ」シリーズ
発売




2016▶
ホーローインクジェット技術の
開発に成功



2012▶
創業100周年
おかげさまで100周年
100

2022
創業110周年
Change!
110th

変わらないものを大切にしながら、未来に向けて「進化・変革」するという思いを込めて、110周年記念ロゴを作成。

2025
初の海外拠点
台湾支店設立



水まわりに最適な素材「高品位ホーロー」

お客さまにずっと「愛される」商品をつくるために
タカラスタANDARDが辿り着いた答え。
それが、ホーローを越えた「高品位ホーロー」。

ホーローは、汚れや湿気に強く、ニオイも付きにくい水まわり製品に最適な素材。
キッチンや浴室などの住宅設備機器は、高価なものだからこそ、
何年使っても、購入したときと変わらないキレイなままで使ってほしい。
そんな思いがあるからこそ、タカラスタANDARDでは
ホーロー素材にこだわった高品質な製品開発をしています。

さまざまな特長を持つ「高品位ホーロー」の魅力

ホーローだから叶う
10コの「うれしい」

強さと美しさ、さまざまな優れた特性で、
水まわり製品に理想的な素材である
「高品位ホーロー」。
その魅力をご紹介します。



1 お手入れカンタン

汚れが染み込まないので、
ずっとキレイが続く。



2 湿気に強い

染みやカビ、腐食などもなく、
とても長持ち。



3 欠けにくく、衝撃にも耐える

欠けやすいイメージがある
ホーローですが、硬いものを
ぶつけたりした際も安心です。



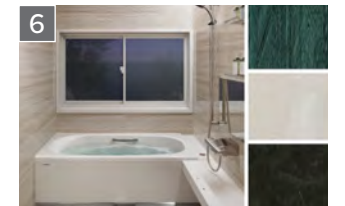
4 マグネットが使える

マグネットが付け外しできる
ので、自分好みのインテリア
を楽しむことも。



5 伝言板としても使える

油性ペンも水拭きで消える素
材なので、ご家族のちょっと
した伝言板としても使えます。



6 多彩な表現力

独自のインクジェット印刷技
術で、リアルな色・柄を表現。



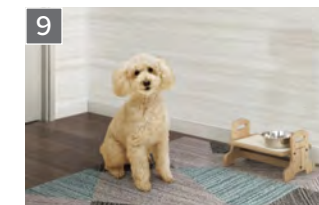
7 熱に強い

木や合成樹脂のように熱で
変形・変色しません。



8 キズに強い

表面のガラス層がキズや衝
撃をしっかりガード。



9 ニオイも平気

ペットやタバコのニオイも染
みつきにくいので毎日が快適。



10 環境にやさしい

ホルムアルデヒドなどの有
害物質を出さない安心素材。

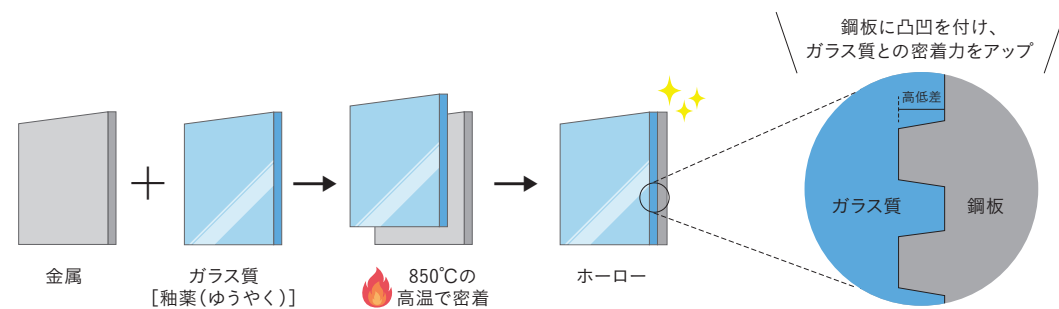
ホーローとはどんな素材？

水まわりに最適な夢の素材。
ホーロー（琺瑯）のヒミツ。

ホーローとは、金属とガラス質が結合した夢の素材。
ガラスは、水、熱、ニオイに強く、さらに見た目も美し
い素材ですが、割れやすいのがデメリット。しかし、
そのデメリットを克服した、割れにくいガラスという
夢の素材がホーローです。

ホーローは割れやすいと思いませんか？
割れないホーローはタカラスタANDARDの自慢。

ホーローの品質を左右するポイントは、素材そのものの品質は
もちろん、鋼板とガラス質という2つの異なる素材の複合性・密
着力。タカラスタANDARDの「高品位ホーロー」は、鋼板に凸凹
を付け、ガラス質との密着力をアップさせているので、鍋の
ホーローとは丈夫さの度合いが違います。

「いいものをお届けする」
それが、タカラスタANDARDの
ものづくりの使命

お客さまにずっと「愛される」商品を作るために、タカラスタANDARDでは品質にこだわっています。だからこそ、人の
作業を大切に、きちんと目で見、手で触れて、品質を確かめています。

各工程での作業は、リレーのバトンを渡すような感覚で、人から人へと引き継がれていき、商品が出来上がります。
多くの人の手を通して、商品が出来上がるからこそ、高い品質を維持できます。

また、ホーローは一種の生き物のようなもの。温度や湿度など、その日の環境によって、加工条件を調整する必要があります。
そのような日々の微妙な変化に対する細かな調整は、機械では難しく、人だからこそできることなのです。

「確かな品質の商品をお届けする」

それが、お客さまにずっと愛される商品を作るうえで、欠かせないことだと考えています。

ホームページで「タカラス
タANDARDが紡ぐものづくり」
をご覧ください。

